2026年11月13日

各　　位

会 社 名　株式会社ＥＭシステムズ
（登記上の商号　株式会社イーエムシステムズ）
代表者名　代表取締役社長執行役員　國光　宏昌
（コード番号　４８２０　東証プライム）
問合せ先　上席執行役員経営戦略本部長　小林　大悟
（ＴＥＬ　０６－６３９７－１８８８）

# 2026年12月期 通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、2026年12月期通期連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

１．連結業績予想

(1) 2026年12月期通期連結業績予想の修正（2026年１月１日～2026年12月30日）

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に帰属する当期純利益 | １株当たり当期純利益 |
|---|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 銭 |
| 前回発表予想（A） | 22,762 | 3,316 | 3,939 | 2,193 | 31.69 |
| 今回修正予想（B） | 21,233 | 2,238 | 2,963 | 1,485 | 21.46 |
| 増 減 額（B－A） | △1,528 | △1,078 | △975 | △707 | － |
| 増 減 率（%） | △6.7 | △32.5 | △24.8 | △32.3 | － |
| （ご参考） | | | | | |
| 前期実績（2025年12月期） | 23,658 | 3,676 | 4,313 | 2,452 | 35.44 |

(2) 修正の理由

当連結会計年度における売上高につきましては、調剤システム事業において全社横断の専門活動体制の構築による需要獲得や提供価値に見合った価格体系の見直し、高付加価値商材（「薬歴生成AIサポートオプション」等）への営業戦略シフトを進め、課金売上等のストック収益は堅調に推移いたしました。

しかしながら、前連結会計年度に旺盛であったオンライン資格確認や電子処方箋といった厚生行政関連の需要が一巡したことや、将来の収益基盤拡大に向けた他社新規獲得優先への戦略シフトで自社リプレイス促進を抑制した影響等により、初期売上が想定を下回る見通しとなりました。これに伴い、売上高、営業利益及び経常利益につきましては、前回発表予想を下回る見込みとなりました。

さらに、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、第３四半期連結累計期間において投資有価証券売却益（特別利益）を計上したものの、将来リスクに備えた精査を行った結果、来年１月に予定

しております連結子会社の吸収合併に伴う特別損失や、介護/福祉システム事業における減損損失等を保守的に織り込んだことにより、前回発表予想を下回る見通しとなりました。

２．配当予想について

2026 年 12 月期の配当予想につきましては、当社の中期経営計画における株主還元方針である「配当性向 100%以上」の基本方針に則り、本業績予想の修正後においても 2026 年８月 10 日の公表内容から変更はありません。当期は、中間配当５円（実施済）、期末配当 18 円と、年間 23 円の配当を実施する予定です。

（注）上記の予想数値は、当社が現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以上